

# 若者に特化した中間支援事業 “Ux Campus”

R6年度 中間支援創設 一般社団法人みくもや

## 1. 事業が目指すところ

神戸市では、地域コミュニティへの主な参加者の高齢化が進んでおり、若い世代の地域の担い手の発掘・育成が急務となっている。また、市内には中間支援組織が複数ある一方、学生や若者に特化した支援組織は数少ない。そのため、若者が地域に参画する機会や選択肢が限られていたり、地域の団体が若者を活動に巻き込みたくてもその方法が分からず、世代交代が進まないという現状がある。そこで、本事業では、若者を地域に巻き込むことに特化した中間支援事業を行うことで、若者による地域活動の参画を促進する。

### 創設3年間の計画

1年目

#### 支援体制構築

広報基盤強化  
ネットワーク構築

2年目

#### 実績の積み上げ

ネットワークの拡充  
支援の仕組み強化

3年目

#### 支援の拡充

インターン生の受入  
支援ノウハウの蓄積

## 2. 令和6年度 活動内容

### 2-1. 情報提供・ネットワークの構築

- 市内外の中間支援組織とのネットワーク構築の一環として、ひょうご中間支援ネットワークの世話団体を務め、交流会の企画を担当した
- 神戸市長田区の活動拠点「ユニット422」を中心に地域のキーパーソンとのネットワークを強化した。具体的にはコープこうべや宮川小学校、長田神社前商店街等と意見交換する場を設けた
- 長田区のキーパーソンや地域施設をピックアップした地域資源リストを作成し、マップ形式のデータベースとして今後アクセスしやすいように記録・保存した。



### 2-2. 人材育成の取組

- インターン生の受け入れ  
2-1で作成した地域資源リストを作成するにあたって、大学生のインターン生を受け入れた。インターン生は自身が持つ「福祉」への関心をベースとして、地域団体へのインタビューを行い記事を作成した。このプロセスを通じて、地域の課題感やそれに対する取り組みについての情報を収集し理解を深めた。
- プロジェクトチームの組成  
ユニット422を活動拠点とした学生チーム「学生422」を立ち上げた。高校生から大学生までが所属する。近隣の小学生を対象とした駄菓子屋を運営する駄菓子屋チーム、本を通じたコミュニティ作りにチャレンジする本プロジェクトチームがある。それぞれみくもやスタッフのコーディネートの元、実践を通して地域活動のノウハウについて学んでいる。



## 3. 成果と課題

活動拠点ユニット422の整備に目処がつき、不定期ながらオープンできている。結果として小学生から高齢者まで、近隣住民の方々に活動場所が認知され始めていること、長田区役所や地域のキーパーソンとの情報交換の密度が上がっていることが成果と言える。今後はより拠点の機能を整理し、利用者に分かりやすく伝えていく必要がある。例えば、本の貸出機能やシェアキッチン、レンタルスペース機能などを利用してもらえるよう整備されているが、具体的な利用申し込み方法や価格設定、利用ルールなどを定めた規約などを作成していく必要がある。